髙橋産婦人科

Since 1989

Takahashi Sanfujinka

地元で愛され続け、岐阜県内で一早く顕微授精を成功させた豊かな経験と確かな知識で、患者様の対応をさせていただいています。

不妊症と不育症の治療に力を入れている医院です。最高水準を維持しつつ、体外受精だけに頼らない不妊症不育症治療を目指しています。卵管鏡手術や卵子の質の改善を目的とした低用量レーザー（LLLT）による治療も行っており、高気圧カプセルも導入し、アットホームな雰囲気の中で患者さんと正面から向き合い、安心して治療を受けていただける信頼関係を築きながら、最善の治療と長期にわたるケアを共に行っていきます。

髙橋 誠一郎 院長
Seiichiro Takahashi

平成元年に当医院を開業。県内初の顕微授精に成功し、以来不妊症不育症治療を専門に約 5000 人の新しい命を送り出す。超多忙な日々の中、高い向上心と信念を持って仕事に取り組んでいます。常に患者さんにとって最善の治療方針を示し、緊急時にも高い技術と判断力で対処し、多くの患者様やスタッフの信頼を得ています 。

[資格]
- 医学博士
- 日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医

TEL **058-263-5726**

受付時間
午前　9：00～12：00
午後 16：00～19：00

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日	祝祭
午前 9：00～12：00	○	○	○	○	○	○	―	―
午後 16：00～19：00	○	○	○	―	○	△	―	―

△ 土曜午後は 14:00 ～ 16:00 まで

ADD 〒500-8818
岐阜県岐阜市梅ヶ枝町 3-41-3
交通：岐阜バス 西野町バス停よりすぐ

インフォームドコンセントを大切に

インフォームドコンセント（患者への説明と理解）を大切にすることを基本に、毎月 1 回、体外受精説明会を行っています。説明するスタッフは、医師、看護師、培養士、カウンセラー、IVF コーディネーターで、それぞれにスタッフの顔が見え、雰囲気もよくわかり、知識とともに安心感が得られると好評です。説明会の後は、個別で質問を受けたり個別の相談にも対応しています。　院内保育園があり、2人目不妊の人でも気兼ねなく通院できます。

確かで高い技術を長く提供

私たちの施設は、岐阜県内初となる顕微授精での出産例（1996 年）、凍結胚での妊娠例（1998 年）があり、以前から確かで高い技術を持っています。通院する患者さんは一般不妊治療患者 7 割、ART 患者 3 割で、治療による妊娠の割合も同様の割合から、一般不妊治療での成績も良好です。

内視鏡下卵管形成術も得意とし、体外受精の原因に多い卵管因子の対応には、体外受精を先行するのではなく、できる限り自然に近い方法で妊娠できるよう治療を行ってからの体外受精を進めています。

採卵、そして培養

採卵までにエコー検査が4回とホルモン検査が2回。排卵誘発剤の選択では、自己注射も選べ、仕事と両立している人にとっても通院しやすい環境を整えています。採卵手術は麻酔をして行いますが、完全自然周期法などで採卵数が少ないことが見込まれる場合には無麻酔で行うこともあります。採精は自宅、院内で約半々。男性不妊の場合は連携施設で TESE や MD-TESE などに対応しています。培養室には、最新の AI を搭載したタイムラプス型インキュベーターを設置し、胚に優しい環境で培養することを可能としています。

胚移植と妊娠判定

胚移植は、凍結胚が約9割と多く凍結融解胚での妊娠が増えています。患者さんの平均年齢は保険診療が始まり少し下がりましたが、出産の最高齢者は 46 歳です。新鮮胚での移植選択が判断されるケースも少なくありません。

妊娠後は 12 週まで診察をしますが、もともと分娩を扱っていたことから、患者さんにとっては心強く、1人目の治療後に2人目、3人目もここでという患者さんもいます。

主な連携・紹介施設など

分娩施設／操レディスホスピタル
婦人科検査・外科／お住まいの地域の施設
内科系疾患／松阪総合病院
助成金行政窓口／お住まいの地域の施設

高橋産婦人科

体外受精の診療実績

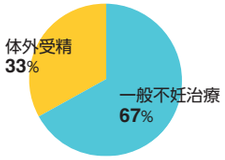
スタッフ

医師 2人　看護師 15人　胚培養士 3人　検査技師 1人　相談スタッフ 2人　事務 5人

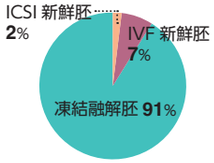
01 治療の状況

統計期間：2022年1月～2022年12月

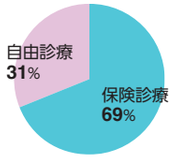
保険診療での治療の割合



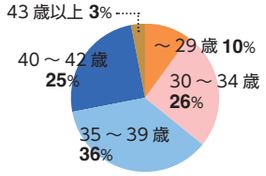
移植胚の割合



体外受精の治療における保険診療と自由診療の割合



ART患者さんの年齢割合



保険診療、自由診療別ART臨床妊娠率

保険診療 移植あたり	データなし
自由診療 移植あたり	データなし
前年度の臨床妊娠率	データなし

今までの治療実績

体外受精周期	出産数	最高齢出産
（年間）663件	2,263人	46歳

実施している受精方法

- ☑ c-IVF
- ☑ ICSI
- ☑ スプリットICSI
- ☑ レスキューICSI
- ☑ IMSI
- ☐ PICSI
- ☐ SL-ICSI
- ☑ PIEZO

当院で体外受精の原因で多いもの

男性不妊　卵管・内膜症　原因不明

c-IVF（通常媒精）、ICSI（顕微授精）、スプリットICSI（複数卵採卵出来た際、c-IVFとICSIのどちらの媒精も行う方法）、レスキューICSI（c-IVF後に未受精と判断した卵子に対する顕微授精）、IMSI（高倍率で精子を観察し、精子選別を行うICSI）、PICSI（ヒアルロン酸を用いて精子選別を行うICSI）、SL-ICSI（紡錘体を可視化し行うICSI）、PIEZOICSI（微細な振動により細胞破膜を行うICSI）

02 治療をはじめる前に

体外受精の説明について

形式など	● 個別説明 ● 集団説明
説明するスタッフ	● 医師 ● 看護師 ● 胚培養士
ARTの資料	● オリジナル冊子 ● 動画
説明会の様子と日程	月に2回程度、ご予約いただいた約20組のご夫婦を対象に、体外受精の流れ、副作用などを約1時間かけて説明いたします。その後、ご質問のある方は個別にも対応させていただいております。

相談窓口

形式など	● 面談 ● 電話 ● メール
対応するスタッフ	● 医師 ● 看護師 ● 胚培養士

03 採精について

自宅採精	院内採精	実施している精子回収術
45%	55%	TESE MD-TESE

精子回収術の場所の対応：連携施設

04 採卵について

採卵時の麻酔	静脈麻酔（全麻含む）、局所麻酔、無麻酔
採卵時スタッフ	● 医師 ● 看護師 ● 胚培養士
採卵後の休憩	約30～60分

05 培養室について

培養室の衛生管理と取り組み

- ☑ 入室時の手洗い
- ☑ 専用衣服・帽子・マスクの着用
- ☑ 空調管理
- ☑ インキュベーターなどの培養器の管理
- ☑ 清掃や衛生
- ☑ 作業マニュアル（更新含む）
- ☑ 勉強会や検討会がある
- ☑ ミスが起きた時の対応はすぐにとれる

培養器

☑ 集合型　☐ 個別型　☑ タイムラプス型

培養室スタッフ

専任培養士 3人　補助アシスタント 1人　［管理責任者］松村愛子

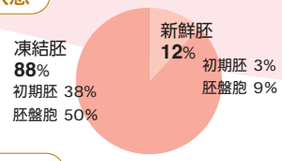
凍結保存

胚　精子　未婚

［延長の連絡方法］メール、電話

06 胚移植について

移植胚の状態



黄体管理（薬剤）

服薬　貼付　腟剤

07 妊娠について

妊娠判定はいつ？	5週
分娩施設への紹介状	100% 書いている

08 転院時の胚移送と受け入れ

移送ができるもの	受け入れができるもの
☑ 胚　☑ 精子	☑ 胚　☑ 精子

移送する方法

☑ 患者自身　☑ 移送業者

09 保険診療対象外の患者さんについて

（ケースとして多いのは?）

1位 自由診療で体外受精を続ける
2位 一般不妊治療を続ける
3位 治療を辞める

10 取り扱いのある診療について

（各診療項目の説明はP.40を参照ください）

☐ PICSI	☑ ERPeak	☑ SEET法	☑ PRP
☑ IMSI	☑ EMMA／ALICE	☑ 二段階移植法	☑ 不育症検査
☑ タイムラプス	☑ 子宮内フローラ検査	☑ タクロリムス投与療法	☑ 不育症治療
☑ ERA	☑ 子宮内膜スクラッチ	☐ PGT	☐ その他